

第4回 基礎講座

施設側の視点で企画から実施のプロセスを学ぶ

開催日時：2025年10月17日（金）18：00～20：30

場所：アーツカウンシル東京 会議室 東京都千代田区九段北4丁目1-28

講師：梶奈生子（東京文化会館 事業企画課長）



講座のねらい

企画の実現に向けた実践的なスキルとして、「施設としての視点」を理解し、課題や施設の特徴にフォーカスした企画立案に取り組む。

講座の内容

1 東京文化会館の特徴と課題

「音楽の殿堂」と言われ、貸館事業において国内外の一流団体の公演に利用される東京文化会館の抱える課題を整理

2 公立文化施設としての事業実施の考え方

貸館事業における観客の高齢化や固定化などの課題に対して、公立文化施設の立場から、あらゆる人に向けた自主事業を「創造発信」「人材育成」「教育普及・社会共生」の3つの柱で展開する、その背景や考え方を紹介

3 子供の参加型事業における企画のプロセス

館の特徴と課題を踏まえ生み出した2つのプログラム「オペラをつくろう!」「東京文化会館ミュージック・ワークショップ」を紹介。企画の意図と、継続して実施することで見えてきた成果を解説

4 企画を立てる際のポイント

企画を実現させるために欠かせないアピールポイントを整理。意義・ミッションの明確化、地域や施設の課題とのマッチング、それぞれの施設の運営体制とのバランスなど、実現性を踏まえた企画の重要性と魅力を伝える視点を解説

5 ワークショップ：施設の特性や課題からの企画立案

具体的な施設を想定し、その特性や課題を踏まえて企画書を作成。文化施設、子供関連の施設、一般企業、フリーランスなど、多様なバックグラウンドを持つ受講生同士で意見交換を行い、異なる立場の視点から企画をブラッシュアップ

6 質疑応答

- ・「オペラをつくろう!」に参加する子供たちの専門性 / 映像で振り返るねらい
- ・様々な方にオペラに関心を持ってもらうための工夫
- ・魅力的なワークショップのタイトルをつけるコツ



受講生の声（一部編集しています）

施設の方針と事業内容が合致しているかという視点は自分の現在の活動に足りていない考え方だと感じ、今後の進め方の指針にしたいと感じた。

「施設側の視点」というところで「自分の現場だったらこうかな」と想像しながらどう企画し実行していくか具体的にイメージすることができました。

子供たちが自分の表現を形にし、自信や芸術への興味を育み、それがやがて、芸術に関わる人や観る人を広げるきっかけになるという視点に心を大きく動かされました。

東京文化会館が今まで積み重ねてきた事例の数々から、改めて「アートや文化」が担うことの全体像も知ることができました。

